

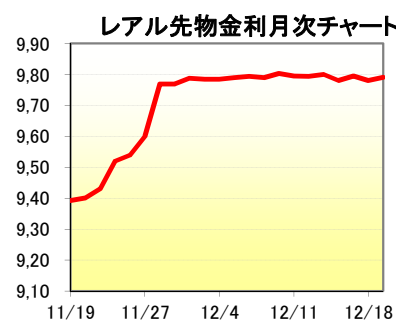
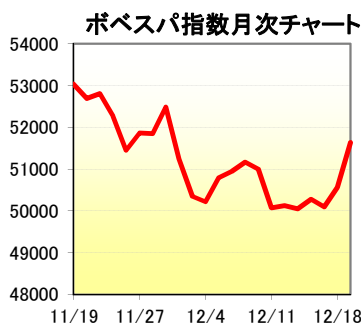
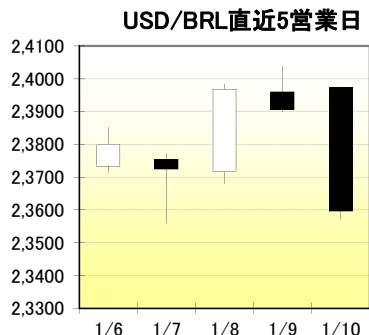
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	1月10日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,3760	2,3740	2,3890	2,3950	2,3650	-0,0300
	USD/YEN	Spot	104,26	104,56	104,76	104,80	104,11	-0,6900
	EUR/USD	Spot	1,3589	1,3615	1,3580	1,3609	1,3609	u,c,
	BRL/YEN	Spot	43,81	44,08	43,70	43,83	44,15	+0,3200
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,44	1,44	1,49	1,46	1,36	-0,0958
		1Year(p.a.)	1,77	1,77	1,84	1,81	1,71	-0,1019
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,29	10,26	10,31	10,32	10,39	+0,0628
		1Year(p.a.)	10,54	10,52	10,57	10,57	10,65	+0,0800
Stock	Bovespa		50.974	50.430	50.577	49.322	49.696	+374,77
Bond	CDS Brazil 5y		188,99	186,68	189,84	194,96	195,67	+0,7060
	Global 40		113,775	113,650	113,575	113,750	113,725	-0,0250

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FIPE CPI-週次	0.68%	0.74%	0.61%	
IGP-M Inflation 1st Preview	0.57%	0.37%	0.32%	
IBGEインフIPCA(前月比)	0.82%	0.92%	0.54%	
IBGEインフレ率IPCA(前年比)	5.81%	5.91%	5.77%	

4. 週間市況、トピックス

- ・ 今週の為替相場はUS\$1=R\$2. 3730 で寄り付いた。
- ・ 週初のレアルは寄り付き後売りが優勢となるも、大口の資金流入の噂が聞かれるとレアルは 2. 3800 を上抜け反発した更に 12 月の米 ISM 非製造業が拡大したものの、市場予想を下回ったことからレアルは 2. 37 台後半まで続伸した。
- ・ 翌 7 日には米格付け会社によるブラジルの格下げの可能性が低いとの報道や伯大手企業が海外で多額な資金調達を行ったことが好感され、レアルは一気に週間高値となる US\$1=R\$2. 3560 まで買い進まれた。
- ・ しかし週央にかけてレアルは 12 月の米 ADP 雇用統計が予想を上回る伸びを示したことからドル買いが見られると、レアルは一気に 2. 37 台後半まで反落した。
- ・ 翌 9 日には米新規失業保険申請件数の減少を受けて米労働市場が十分に改善したことから当局は債券購入の縮小を継続するとの観測が広がり、レアルは週間安値となる US\$1=R\$2. 4040 まで下落した。
- ・ 週末にかけては昨年 12 月の米雇用者数が約 3 年振りの低い伸びとなったことから金融当局が債券購入縮小を継続するとの観測が後退、レアルは 2. 37 台後半まで急伸し、結局 US\$1=R\$2. 3650 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものの、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
1/13	貿易収支(週次)	jan/12	--	--
1/15	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Jan	0.60%	0.44%
1/15	Currency Flows Weekly			
1/15	SELICレート	jan/15	10.25%	10.00%
1/15	登録雇用創出合計	Dec	--	47486
1/15	CNI産業信頼感	Jan	--	54.3
1/16	FGV CPI IPC-S	jan/15	0.79%	0.73%
1/16	小売売上高(前月比)	Nov	0.5%	0.2%
1/16	小売売上高(前年比)	Nov	6.6%	5.3%
1/16	広義小売売上高(前年比)	Nov	3.5%	2.2%
1/17	IGP-M Inflation 2nd Preview	Jan	0.60%	0.54%
1/17	経済活動(前月比)	Nov	-0.10%	0.77%
1/17	経済活動(前年比)	Nov	1.80%	2.74%
1/17	CNI設備稼働率(季調済)	Nov	--	82.1%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.35-2.45

今週はレアル相場の流動性が少しずつ回復し、重要な経済指標の発表も見られた。米 ADP が予想を上回った一方、非農業部門雇用者数が予想を大きく下回ると金融当局が債券購入縮小を継続するとの観測も後退し、レアルは 2.36 台まで買い戻される展開となった。更に伯大手企業による海外での多額な資金調達も実行されたことからブラジルの企業に対する海外投資家の姿勢はポジティブであるとの見方が強まった。来週は失業保険申請件数等の米経済指標が注目される一方、ブラジル企業による大口の資金流入が見られることが予想されているためレアル高傾向となる可能性があり、レアル相場のボラティリティーは引き続き高い展開となろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department